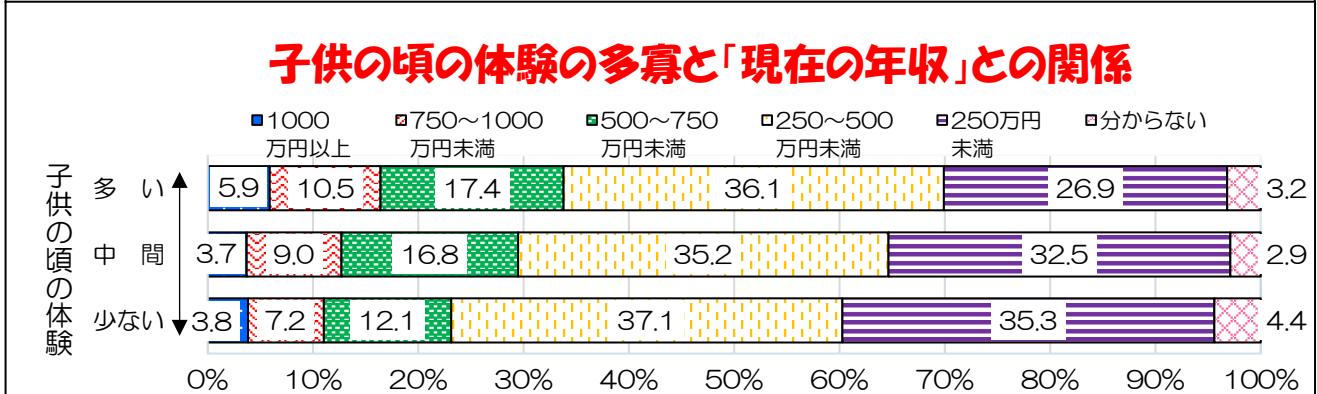
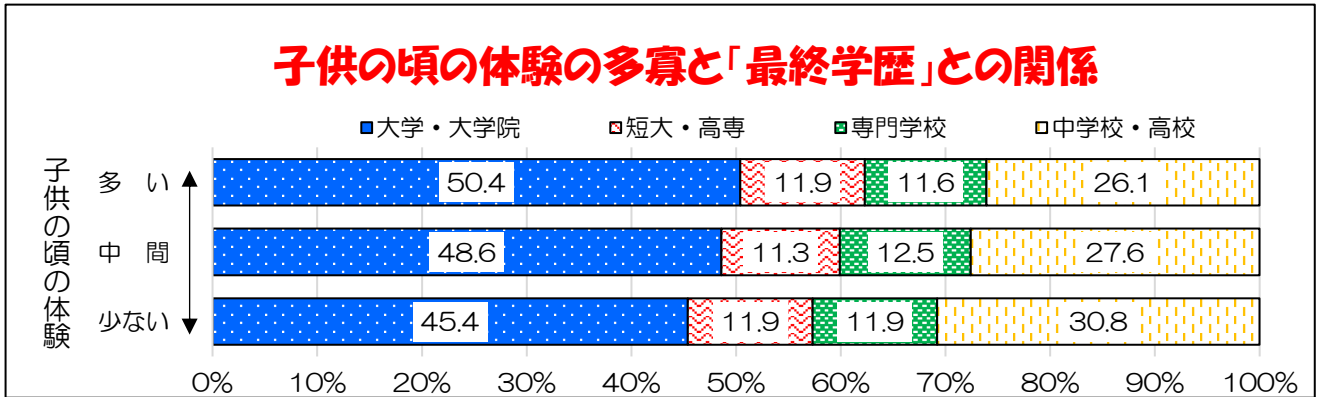




子育て中の親や
子供に関わる方へ

★子供の頃の体験量が多いと、高学歴・高収入になる傾向にある。

*体験量とは、「自然体験」、「動植物とのかかわり」、「友だちとの遊び」、「地域活動」、「家族行事」、「家事手伝い」の6つの領域で構成されています。



【出典】独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」報告書〔概要〕、(2010)、p2
【調査概要】対象：20~60代各年代で男女各500名(合計5,000名)、期間：2009年11月13~16日



「体験の多寡」と「最終学歴」や「現在の収入」は、関係ないように思われますが、比例の関係があるとのこと。体験活動のどのような部分(要素)が、子供たちに刺激をあたえ、その刺激によって、どう変わり、最終学歴や現在の収入に影響を与えているのでしょうか。

【風をよむ】

きっと多くの方が子供の頃に「将来の夢は？」と聞かれたことがあるのではないのでしょうか。その夢を大人になって実際に叶えた人もいれば、別の夢を叶えた人もいることでしょう。子供の頃の体験は好奇心をくすぐり、知見の広がりにつながります。また家庭から地域社会、国や世界へと目を向けると、他者との関わりも徐々に広がり、社会がどんな仕組みで成り立っているかを知ります。様々な体験から興味のある物事が分かると、将来なりたい自分が具体的に見え、その結果、学歴等にもつながってくると思います。人生の幸福の尺度は人それぞれですが、何が好きでどんな夢を持ちたいか、それを見つけるきっかけが体験には隠されていると考えます。

(【風をよむ】担当 対馬青年の家 ゆうちゃん)

☆直接メール配信も行っていますので、必要な方は下記アドレスへ連絡ください。
☆可能であれば、本用紙を印刷し子供たちへ配布していただければと思います。
☆ぜひ御意見・御感想を送っていただければと思います。

 **長崎県立対馬青年の家**
TEL : 0920-83-0559
E-mail : tsushima1186@sea.tcctv.ne.jp

【対馬青年の家 Facebook】
過去の資料も閲覧可能です。
「いね」をお願いします。

